

4 地域課題解決に向けたオフリング創出【取り組み事例 1 畜産 DX】

牛の個体データで畜産農家の 経営管理の効率化をサポート

NTT データは、デザミス株式会社（以下、デザミス社）と協業し、同社が提供する牛の行動モニタリングツール「U-motion」から牛一頭一頭の価値を計算し、畜産農家に提供する経営管理ソリューションを構築した。本稿では、その概要について紹介する。

経験則からデータ活用へ

畜産農家の課題の一つに、経営計画を立てる上での情報不足が挙げられる。また、情報入手のタイミングが遅いため、経験則に基づいて牛を管理せざるをえないという実態もある。NTT データは、こうした課題に対し、従来個別に管理されていた情報を集約し必要な情報を算出することで、畜産農家の売上原価管理、決算作業、経営計画といった経営管理の効率化をサポートする。

U-motion は牛の首に装着したデバイスから 24 時間 365 日牛の行動や状態をモニタリングし自動記録するだけでなく、発情兆候や体調不良等

をアラートで通知する。牛の個体識別番号、導入日や出荷日、出荷額といった情報と共にデータ化することで、これまで勤と経験に頼っていた畜産農家の経営管理を客観的に判断することが可能となる。農家の情報を金融機関・税理士と共有できる可能性においても大きな期待が寄せられている。

今後の展開

当初 NTT データは、金融機関が



株式会社 NTT データ
第二金融事業本部 オフリング推進室 ビジネス企画担当
(左から) 課長 岡本 泰寛氏 (課長代理) 前田 健太氏
(主任) 森 あかり氏 (主任) 水野 崇氏

畜産農家に融資をする際、牛を動産担保にするためのデータの提供を考えていたという。しかし活動を進めていくなかで、畜産農家向けの経営管理のニーズが高いことがわかり、まずはそこを皮切りに本ソリューションをスタートさせることになった。(2022 年 12 月リリース予定)

今後、サービスの認知度を高め、全国の畜産農家への導入を目指す。さらに、経営分析ツールを応用して将来的には農家に関わる税理士法人や金融機関への提供も検討していく。紙ではなくデータでのやりとりを実現することで、税務処理や融資手続きをスムーズに行うことを可能とする。その後、畜産農家向け・畜産市場向けのソリューションを組み合わせ金融機関向けの動産担保融資に資するデータ提供に繋げる計画だ。



図1 畜産 DX のイメージ